

岩手大学への父の思いと喜び

①盛岡高等農林学校（昭和8年～昭和11年）3年間
（1933） （1936）



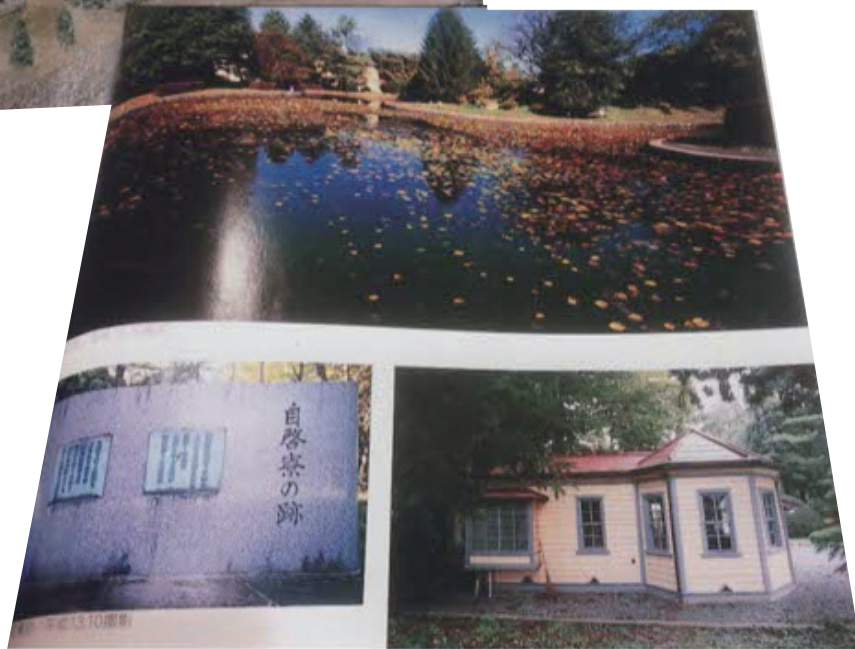
盛岡高等農林学校旗



大正時代の校舎



昭和10年頃の正門（父、在学中）
後に重要文化財指定



門番所 後に重要文化財指定

②岩手大学教授時代（昭和42年～昭和56年）14年間
（1966） （1980）



盛岡高等農林学校時代の本館講堂が重要文化財の指定を受ける 1994年（平成6年）
（丹羽太左衛門 北水会会長の時）

毎日新聞 2002年（平成14年）11月26日（火曜日）

社会 事件 ひと 話題

23年前の凍結精子で子ブタ出産

長期保存 産功の場
世界記録 馬試

群馬県は20年前に冷凍保存したブタの精子で人工授精したブタの産んだ子ブタが誕生したと発表した。東洋のブタの精子を20年以上保存し、出生させたのは国内で初めてという。県は「冷凍による家畜の遺伝保存の可能性が実証された」と語っている。

実験は、群馬畜産試験場（群馬県太田市）と、岩手大学畜産科（家畜繁殖・繁殖学）が共同で行った。丹羽名義教授が20年に凍結した「ランドレース種」のブタの精子を今年7月、同種のメスブタに注入して人工授精したところ、8月29日の朝、頭が妊娠。10月21日と22日の朝、頭を出産した。子ブタはいずれも順調に育っているという。

群馬畜産試験場の松原英二（改姓）教授は「マンネリ化の深刻な課題を克服し、水産物の遺伝資源を有効に活用し、持続可能な畜産を実現する」と話している。20年前に冷凍された精子でブタを出産させた例があるという。

群馬畜産試験場の松原英二（改姓）教授は「マンネリ化の深刻な課題を克服し、水産物の遺伝資源を有効に活用し、持続可能な畜産を実現する」と話している。20年前に冷凍された精子でブタを出産させた例があるという。

【田中真】

日本経済新聞 2002年（平成14年）11月26日（火曜日）

23年前に凍結の精液使い豚授精

群馬県農政課は25日、約二十三年前に凍結保存した豚の精液を使った人工授精に成功したと発表した。

同県の畜産試験場（富士見）で11月、二匹の母豚から十九匹の子豚が誕生。農政課はこれだけ長期凍結した精液

での人工授精は世界でも例がない」と話している。子豚月に精液を注入して新たな手法を採用したという。

同試験場では、一九七九年に岩手が保存した「ランドレース種」の凍結精液を、今年七月、産んだ母豚に人工授精。低温に凍結した精液は、これより人工授精は難しいと、四十九匹の子豚を生んだ。される。

産んだ。従来の方法では、精子を子宮の入り口までしか送れなかったため、着床が難しく、授精が難しかった。新たに開発された器具を使い、授精に成功したという。

県にも、授精が実用化されれば、豚の飼育を減らして経営を改善できるという。伝説的授精を減らすことで、授精が実用化されれば、豚の飼育を減らして経営を改善できるという。

群馬 2002年（平成14年）11月26日 火曜日

品種改良これでトントン拍子？

23年前の凍結精子で子豚出産

群馬畜産試験場は25日、23年前に凍結した豚の人工授精に成功したと発表した。豚の精液を人工授精して、20年前に凍結された精子で子豚を生んだと発表した。20種の長期保存が可能になると話している。

群馬の試験場

従来の方法では、精子を子宮の入り口までしか送れなかったため、着床が難しく、授精が難しかった。新たに開発された器具を使い、授精に成功したという。

県にも、授精が実用化されれば、豚の飼育を減らして経営を改善できるという。伝説的授精を減らすことで、授精が実用化されれば、豚の飼育を減らして経営を改善できるという。



父と母

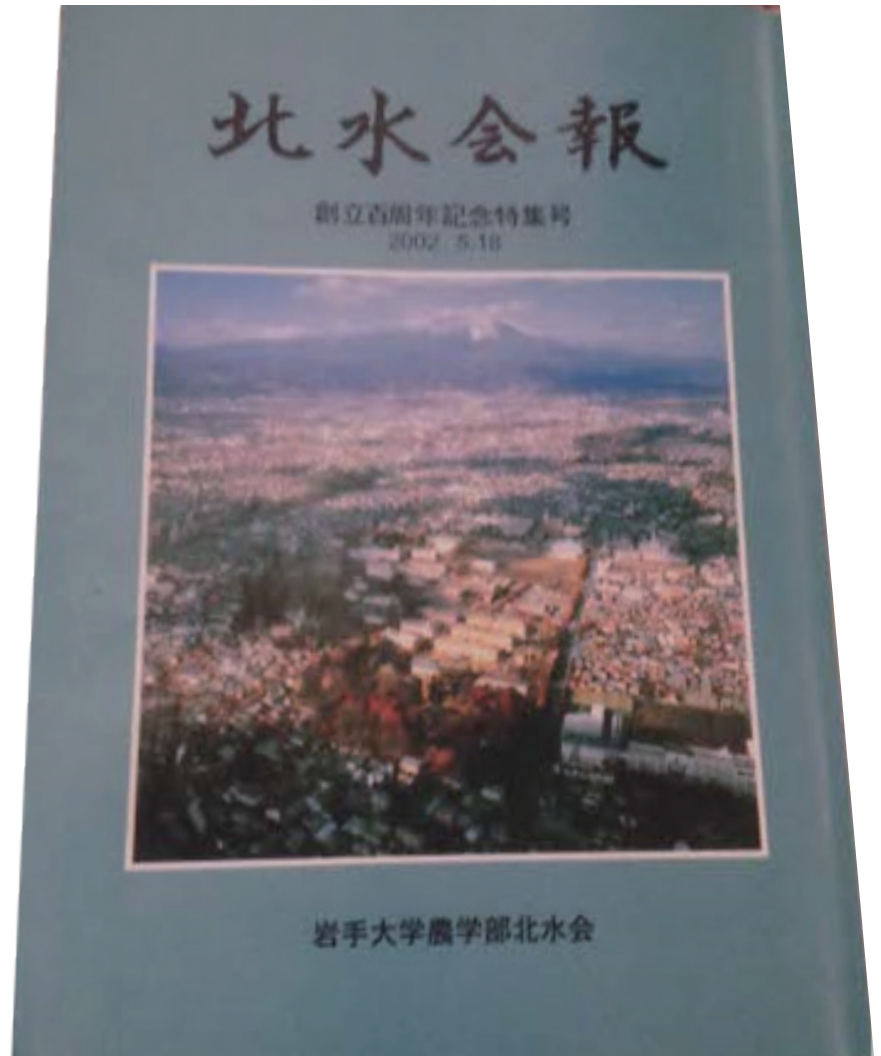
岩手大学の桜と

③北水会会長・名誉会長時代

会長（昭和61年～平成8年）10年間
名誉会長（平成8年～平成28年）20年間



多数の方々のご寄付で刊行されました

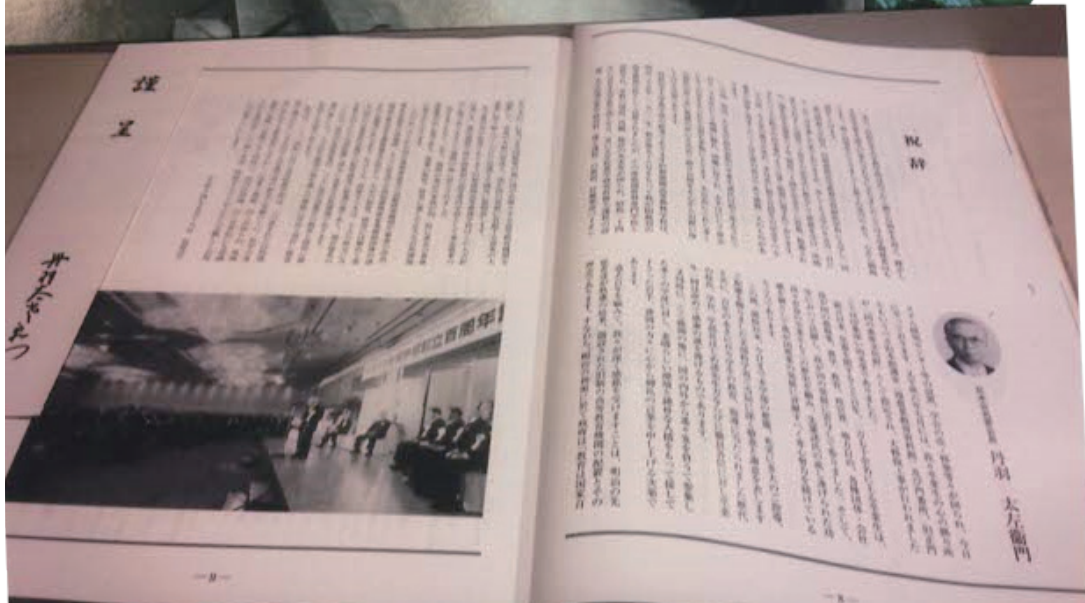


題字は丹羽太左衛門 自筆

（父の希望はこの会報を棺に入れることでした）

④北水会名誉会長時代 (平成8年～平成28年)
(1996) (2016)

創立100周年記念 平成14年
(2002年5月)



うれしい教え子との再会

「盛岡の人たちは温かくてファンダフル。大好きな場所と人たちにまた会えてうれしい」と久しぶりの古里を懐かしんでいた。ローレンシンさんは、現在米国テキサス大で皮膚がん治療の研究をしている。

石割桜

岩手のシンボル



絵

雨森俊彦氏

(父の郷里の名士)